



熊本県感染症情報(8月27日～9月2日)



KKT 熊本県民テレビ 医療サイト事務局

県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	→ 0	0	百日咳	→ 0	0
RSウイルス感染症	↗ 41	7	ヘルパンギーナ	↗ 50	47
咽頭結膜熱	↘ 26	37	流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	↗ 23	20
A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	↘ 24	25	急性出血性結膜炎	↗ 2	0
感染性胃腸炎	↗ 203	158	流行性角結膜炎 (はやり目)	↘ 29	52
水痘	↘ 17	27	細菌性髄膜炎	↘ 1	2
手足口病	↗ 20	6	無菌性髄膜炎	↗ 2	1
伝染性紅斑 (りんご病)	↘ 2	4	マイコプラズマ肺炎	→ 7	7
突発性発しん	↘ 33	51	クラミジア肺炎	↗ 1	0

**報告が多い
感染症**

- 感染性胃腸炎
- ヘルパンギーナ
- RSウイルス感染症

- 感染性胃腸炎は、報告数 203 件(前週報告数 158 件)と増加。地区別では、宇城、有明、八代に多く報告がみられます。年齢別では、1歳の 42 件を最多に幅広い年齢層からの報告です。
- ヘルパンギーナは、報告数 50 件(前週報告数 47 件)と増加。地区別では、天草、宇城、水俣に多く報告がみられます。年齢別では、1歳の 16 件を最多に主に 6 歳以下からの報告です。
- RSウイルス感染症は、報告数 41 件(前週報告数 7 件)と増加。地区別では、有明、菊池、宇城に多く報告がみられます。年齢別では、1歳の 22 件を最多に 3 歳以下からの報告です。

◆◆◆保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血 性レンサ球 菌咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパ ンギー ナ	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性角 結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコプラズ マ肺炎	クラミ ジ肺炎
熊本市保健所		12	15	15	43		8	1	12		11	5	2	26		1	4	1
山鹿保健所					10		1		1				1					
菊池保健所		6	5	4	11	1	3	1	6		4	1		2				
阿蘇保健所					10													
御船保健所					2													
八代保健所			1	2	24	12					2							
水俣保健所					2				1		3	4						
人吉保健所		2		1	13	1			4		4				1	1		
有明保健所		18	3		46	2	2		2		1	2		1				2
宇城保健所		3		1	31		4		2		6	6						
天草保健所			2	1	11	1	2		5		19	4						1
計	0	41	26	24	203	17	20	2	33	0	50	23	2	29	1	2	7	1

◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

インフルエンザ定点	合計	0~5 ヶ月	6~11 ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80歳 以上	
インフルエンザ	0																					
小児科定点年齢	合計	0~5 ヶ月	6~11 ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20歳以上							
RSウイルス感染症	41	5	6	22	6	2																
咽頭結膜熱	26	1		3	3	5	3		3	3	2	2			1							
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	24				2	1	3	3	2	3	2	3	4		1							
感染性胃腸炎	203	4	33	42	25	14	15	17	6	7	3	5	18	5	9							
水痘	17	1	2	4	7	1	1	1														
手足口病	20		1	9	4	1	2		1			1			1							
伝染性紅斑	2			1					1													
突発性発しん	33	2	16	13	2																	
百日咳	0																					
ヘルパンギーナ	50		5	16	14	4	4	4	2				1									
流行性耳下腺炎	23			1	8	4	4	2	3				1									
眼科定点年齢区分	合計	0~5 ヶ月	6~11 ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70歳以上		
急性出血性結膜炎	2														1			1				
流行性角結膜炎	29	1			1	1	2	2			1		1	1	6	3	2	2	4	2		
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70歳以上					
細菌性髄膜炎	1							1														
無菌性髄膜炎	2									1	1											
マイコプラズマ肺炎	7	1	2	2			1										1					
クラミジア肺炎	1				1																	

大きな流行が発生
又は継続しつつある地域

- 咽頭結膜熱：菊池
- ヘルパンギーナ：天草
- 流行性角結膜炎：熊本

RSウイルス
感染症が
増加しました。



RSウイルス感染症は、冬季に流行する感染症で、例年、今頃の時期から報告数が増え始めます。今週は41件(先週7件)の報告があり、今後さらに増加することが予想されます。12月～翌年の1月にピークを迎えるため、今後注意が必要な感染症の一つです。症状は一般的に、鼻水、咳、発熱などいわゆる「かぜ」のような症状がみられ、1~2週間で軽快します。2歳頃までに、ほぼ全ての人がかかりますが、初めてかかった場合、約3分の1に細気管支炎や肺炎などを起こします。特に生後6ヶ月以内の乳児や、早期産で出生した乳児、循環器疾患のある乳幼児では重症化しやすいので注意が必要です。また、一度感染しても再び感染することもあるので注意が必要です。ウイルスは咳やくしゃみのしぶきから感染します。流行期には赤ちゃんを人ごみに連れて行かない、症状のある家族はマスクをする、外出後の手洗いをきちんと行うなど、乳幼児のいる家庭では、家族全員で予防しましょう。



KKT 医療ナビ! Dr. テレビたん

<http://www.dr-tvtan.jp/>

情報提供：熊本県健康福祉部 健康危機管理課